

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2025年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第7回講義

「ライフサイエンスの動向等と 北大の学生の皆様への期待」

文部科学省 総合教育政策局 国際教育課長(前・研究振興局ライフサイエンス課長)

釜井 宏行 氏

これまでの経験等を通じ、直近のライフサイエンスの関係施策の動向等について説明するとともに、エビデンスベースで戦略的に投資すべき研究領域を選ぶ手法を紹介します。

ライフサイエンス関係では、ライフサイエンス分野の研究力向上に向けた議論、創薬・スタートアップの政策、医療系人材の働き方改革の課題を踏まえた対応(どのように研究活動を効率化しより効果を上げていくか、様々な分野や人材とどのように連携・融合していくか)等を分かりやすく説明します。

その上で、未来の種である科学技術・イノベーション政策を創ることの意義などについて、皆様とディスカッションできればと思います。

日時: 5月23日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法:

オープンホールによる対面授業

釜井 宏行先生

栃木県出身。東京大学教養学部卒業、筑波大学大学院ビジネス科学研究科修了(法学修士)、英国サセックス大学Master of Science, Technology and Innovation Policy。

平成12年科学技術庁入庁。文部科学省国際原子力協力室長、会計課予算企画調整官、日本医療研究開発機構(AMED)創薬戦略部次長・研究開発統括推進室次長、内閣府科技・宇宙担当大臣秘書官、文部科学省科学技術・学術政策局戦略研究推進室長、研究振興局ライフサイエンス課長を経て、令和7年4月より現職。

担当:工学系教育研究センター 小崎 完教授